

機能毎の病床の状況について

病院名: 社会福祉法人恩賜財団済生会中和病院 医療圏: 東和

※H28年度の列は、別紙1－3「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R7年度、R8年度(2026年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

(単位: 床)

			(a) ＜H28年度＞ 許可病床数	＜R7年度＞ 許可病床数	うち、最大使用 病床数 (注1)
一般 病床・ 療養 病床	高度急性期		48床	58床	56床
	急性期	重症	56床	146床	139床
		軽症	168床	30床	25床
	回復期		48床	48床	46床
	慢性期		0床	0床	0床
	休棟中 (今後再開する予定)			38床	
	休棟中 (今後廃止する予定)			0床	
	(合計)(自動計算)		320床	320床	266床
精神病床			0床	0床	0床
結核病床			0床	0床	0床
感染症病床			4床	4床	4床
介護医療院				0床	0床

(b) 将来 (R8/2026年度) 病床数	(b-a) H28年度からの 増減 (自動計算)
58床	10床
146床	90床
30床	-138床
48床	0床
0床	0床
38床	38床
0床	0床
282床	0床
0床	0床
0床	0床
4床	0床
0床	0床

(注1)最大使用病床数
・1年間(R6.4.1～R7.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

令和7年度 地域医療構想における具体的対応方針

1. 基本情報

病院名：社会福祉法人 恩賜財団済生会中和病院

医療圏：東和

2. 地域医療構想の実現に向けた自院の取組について

(1) これまでの地域医療構想や昨今の受領動向の変化、2040年頃を見据えた新たな地域医療構想の方向性を踏まえ、自院が地域で担う役割等について（現状と今後の方向性）

現状の対応方針

現状における対応方針としては、以下に示す3項目を中心に再検討してきた。

1 現在の地域における急性期機能や、将来の人口推移とそれに伴う医療需要の変化等の医療機関を取り巻く環境を踏まえた、2025年を見据えた自医療機関の役割。

2 他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等。

3 1、2を踏まえた機能別の病床数の変動。

これら3点について、現在認定されている地域医療支援病院・在宅療養後方支援病院・がん診療連携支援病院・感染症指定病院・災害拠点病院としての機能の充実と効率化を進めていくことが基本であると考えている。

この3点を基本に、高齢化社会を見据え、住民に必要な医療を、質が高く効率的な形で不足なく提供できるかの観点から以下のことを実施している。

1 宇陀地区と桜井地区における“医療機能の確保及び連携”

最も重要な点は、東和医療圏とくに宇陀地区と桜井地区における“医療機能の確保及び連携”を進めることを考えている。具体的には宇陀市立病院と済生会中和病院の連携であり、連携に向けて協定を締結し、種々の角度から協議を重ねている。その中心となる内容は、宇陀地区と桜井地区における救急医療や手術などの高度急性期、重症急性期の患者さんを中和病院で受入れ、落ち着いた軽症急性期、回復期の患者さんを宇陀市立病院で担当して頂くという連携となる。そのためには済生会中和病院としては、高度急性期機能および重症急性期機能のさらなる充実を図る必要がある。現在のところ同地域で発生した救急搬送件数の約50%にしか対応できておらず、これを62.5から75%にまでupさせる方を宇陀市立病院と検討しているところである。また、まだ各々週2回ではあるが済生会中和病院から宇陀市立病院に外科医と内科医を派遣し連携強化を図っている。

2 病病連携について

済生会中和病院として対応困難な心筋梗塞などの心血管疾患と周産期医療については、東和医療圏の天理よろづ相談所病院と高井病院、中和医療圏の奈良医大附属病院と連携している。ただし、このような疾患についても、近隣の高度急性期医療機関で治療され安定した患者さんを軽症急性期病床または回復期病床に受け入れることができるだけの診療能力は備えておきたいと考えている。また、奈良医大附属病院ERで入院初期治療された患者さんの早期受け入れをする後方支援病院としての役割も引き続き果たしていきたいと考えている。

3 在宅療養後方支援病院として

在宅療養後方支援病院として、在宅の患者さんが急に悪くなった時、軽症は地域包括ケア病床で、重症は急性期病床で受入れて在宅医療にも貢献できればと考えている。

以上、済生会中和病院としては、急性期医療を主軸としつつ地域包括ケア病床も有するケアミックス医療を目指す。

新たな地域医療構想に向けた今後の対応方針

新たな地域医療構想の基本的な考え方では85歳以上の増加や人口減少がさらに進む2040年に向け、外来・在宅、介護との連携、人材確保等も含めたあるべき医療供給体制の実現に資するよう策定・推進するとし、これまでの病床機能だけでなく医療機関機能に着目した機能分化・連携等が求められている。医療機関機能としては、地域ごとの医療機関機能4分類と広域な観点の医療機関機能1分類があり、その内容から済生会中和病院は救急や手術を中心に担当する急性期拠点機能を追求するべきと考えている。しかしながら、これらの機能を分類する施設要件等が未だ不確定であり、これからの地域医療構想での議論に備えて以下に示すような項目について、自院の実績と今後について分析を進めている。

1 手術や救急の件数と、地域におけるシェア率

2 災害拠点病院としての役割

3 感染症指定病院としての新興感染症発生時の医療供給体制

- 4 基幹型臨床研修病院や専門研修施設としての役割
 - 5 地域への医師派遣の実績
 - 6 急性期医療供給体制の確保のため一定の病床は確保しつつも、必要に応じ病床の適正化(ダウンサイズ)等の実施
- 以上、今後の新たな地域医療構想の議論を注視し対応していきたい。

（２）今後、増加が見込まれる高齢者救急への対応について

急性期拠点機能を目指す、高齢者救急についても、積極的に対応したいと考えている。

（３）今後、増加が見込まれる在宅医療需要への対応について

※提供体制強化や体制整備の予定等ありましたら合わせてご記載ください

在宅療養後方支援病院として、在宅の患者さんが急に具合が悪くなった時、軽症は地域包括ケア病棟で、重症は急性期病棟で受入れて在宅医療にも貢献できればと考えている。

（４）今後の医療従事者の確保や医療提供の維持に向けた方策、検討の状況について

※医療DX、タスクシフト・シェア等の取組状況がありましたら合わせてご記載ください

医療従事者の確保や医療提供の維持に向け下記の方策等を実施している

１ 勤務環境の改善を推進

長時間労働の是正や適切な労務管理、多様な勤務形態の導入などを行っている
また、ワークライフバランスに配慮した取り組みによる離職防止・定着促進を行っている。

２ 人材の育成・確保

基幹型臨床研修病院および専門医研修病院として医師の育成・教育を担っている

看護師の特定行為研修の協力施設となっている

スキルアップ・キャリアアップ支援体制の整備を行っている

（特定・認定看護師の資格習得資金等の制度の整備）

将来の医療人材を育成するための各教育機関の実習先となっている

（各看護専門学校、大学薬学部及びコメディカル教育機関）

３ 業務効率化・ICT活用

ICT（宇陀ケアネット）やデジタル技術の活用による業務効率化・DXの推進とともに、タスク・シフト／シェア（特定・認定看護師の活用、他職種への業務移管）を推進している。

3. 各領域の対応状況について

※以下[1]～[15]の領域の今後の方向性について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものにチェックをつけてください。

[1]がん

[1-1]当該領域について対応しているか？

[1-2]手術の実施

肺：呼吸器；消化器；乳腺；泌尿器；（男性）生殖器；骨軟部

[1-3]化学療法の実施

※ ☐ はい ☐ いいえ

[1-4]放射線治療の実施

※ ☐ はい ☐ いいえ

[1-5]拠点病院等の指定

奈良県地域がん診療連携支援病院

[1-6]特記事項

既設の化学療法外来、放射線治療等の充実を図るとともに、消化器センター、呼吸器センター、前立腺外来、乳腺外来とロボット手術センターを設置し、五大がんををはじめとしたがん診療の集学的治療体制を整え積極的に対応している。また、血液疾患にも積極的な取り組みを開始している。

[2]心筋梗塞等の心血管疾患

[2-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[2-2]24時間心血管疾患の急性期医療の実施

—

[2-3]緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施

—

[2-4]経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施

—

[2-5]心疾患に対する外科手術の実施

—

[2-6]冠動脈バイパス手術の実施

—

[2-7]急性大動脈解離の手術の実施

—

[2-8]大動脈瘤手術の実施

—

[2-9]心血管疾患等への早期リハビリ

—

[2-10]特記事項

現状の高次医療機関との連携をさらに進める。

[3]脳卒中等の脳疾患

[3-1]当該領域について対応しているか？

[3-2]脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施

※ 施設外

[3-3]脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施

※ 施設外

[3-4]脳出血（くも膜下出血を含む）への対応

[3-5]くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術

※ 施設外

[3-6]くも膜下出血に対するコイル塞栓術

実施していない

[3-7]脳出血に対する開頭血腫除去術

※ 施設外

[3-8]脳血管疾患等への早期リハビリ

※ 施設外

[3-9]特記事項

積極的に脳卒中患者の受け入れを行い、急性期治療に対応する。脳神経外科医不在の際にも、遠隔画像診断を用いて対応できる体制を構築している。脳神経外科、神経内科の増員等を含め、脳卒中治療の充実を図っていく。

[4]救急医療

[4-1]当該領域について対応しているか？

[4-2]救急告示病院の指定を受けているか？

受けている

[4-3]大腿骨骨折への対応

[4-4]病院群輪番制への参加

参加している

[4-5]小児科病院二次輪番体制への参加

参加している

[4-6]特記事項

救急医療提供については、受け入れの体制も変更した。積極的な取組み・救急受入率の向上を行い、地域の救急医療の担い手としての役割を果たしていく。

[5]リハビリ

[5-1]当該領域について対応しているか？

[5-2]回復期リハビリ病棟入院料届出の有無

無し

[5-3]上記が有りの場合、届出病床数

—

[5-4]訪問リハビリの実施

実施していない

[5-5]通所リハビリの実施

実施していない

[5-6]今後の方向性

リハビリ体制の充実とともに積極的に取り組む。

[6]在宅医療

[6-1]当該領域について対応しているか？

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

[6-2]在宅療養支援病院の届出の有無

無し

[6-3]在宅療養後方支援病院の届出の有無

有り

[6-4]特記事項

脳卒中等治療の充実とともに積極的に取り組む。

[7]訪問看護

[7-1]病院看護師が当該領域について対応しているか？

対応していない

[7-2]同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

ない

[7-3]上記でありの場合、その名称

[7-4]特記事項

現在対応していない。

[8] A C P（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

[8-1]「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）について
定めている

[8-2]特記事項

ガイドラインに基づく院内マニュアルを作成し取り組みを進めている。

[9]小児医療

[9-1]当該領域について対応しているか？

[9-2]小児入院医療管理料の算定

算定している

[9-3]新生児特定集中治療室管理料の算定

算定していない

[9-4]医療的ケア児を受け入れている

受け入れている

[9-5]特記事項

東和医療圏を中心に、入院加療が必要なケースに対応していく。また、中南和小児科二次輪番担当病院として役割を担っていく。

[10]周産期医療

[10-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[10-2]分娩の取扱い

—

[10-3]ハイリスク分娩管理加算の算定

—

[10-4]特記事項

当院での対応の予定はない。

[11]災害医療

[11-1]当該領域について対応しているか？

[11-2]災害拠点病院の指定を受けているか？

受けている

[11-3]DMAT指定病院の指定を受けているか？

受けている

[11-4]E M I S（広域災害救急医療情報システム）への参加

参加している

[11-5]特記事項

東和医療圏の災害拠点病院として役割を担っていく。今後DMAI要員の養成等充実を図っていく。

[12]へき地医療

[12-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[12-2]へき地医療拠点病院の指定を受けているか？

—

[12-3]特記事項

現在対応はしていない。

[13]医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

[13-1]当該領域について対応しているか？

[13-2]基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？

受けている

[13-3]協力型臨床研修病院の指定を受けているか？

受けている

[13-4]臨床研修協力施設であるか？

該当しない

[13-5]専門研修の基幹施設であるか？

該当しない

[13-6]専門研修の連携施設であるか？

該当する

[13-7]特記事項

基幹形臨床研修病院として、現在6名の研修医が活躍しており、今後も臨床研修の充実を図りたい。また、専門研修にもさらに貢献したい。
宇陀市立病院との連携において、内科医師・外科医師の派遣を継続する。

[14]医師の働き方改革

[14-1]医師の宿日直許可の取得状況

取得済み

[14-2]上記で一部の場合、その範囲

取得済み

[14-3]特記事項

着実に対応してゆく。

[15]看護職員の研修機能

[15-1] 特定行為研修の指定研修機関の指定申請予定はあるか？

ない

[15-2] 特定行為研修の協力施設の申請予定はあるか？

ある

[15-3]特記事項

すでに特定行為研修の協力施設となっている。